

平成29年度 事業実績

(公益目的事業)

I	常設展示	P. 1
II	特別展示	P. 8
III	資料収集	P. 10
IV	資料管理・保全	P. 11
V	調査・研究	P. 12
VI	図書室等の運営	P. 14
VII	教育普及	P. 15
VIII	施設維持管理・貸出等	P. 26
IX	広報事業	P. 31

平成 29 年度は、ホール等改修工事の実施のため、10 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで、全館休館した。(本館)

I 常設展示

1 本館

(1) 常設展示

5・6階の常設展示室(8,934㎡)において、定期的な展示替えを計12回行ない、常時約2,500点の資料を展示するとともに、学芸員の研究成果を反映させた企画展や常設展示各コーナーで開催する特集展示を実施した。また、常設展の賑わい・楽しさを演出した「えどはく寄席」、テーマ性を持って展示解説をする「ミュージアムトーク」を定期的に開催した。外部機関と協力した企画展として、「発掘された日本列島2017」展(文化庁と共催)、「徳川将軍家へようこそ」展(公益財団法人徳川記念財団と共催)を開催した。

[常設展観覧者実績]

区分	平成29年度(A)	対前年比(A/B)	平成28年度(B)
一般	264,256人	58.2%	453,989人
学生	25,531人	61.2%	41,714人
高校生、都外中学生	45,777人	57.7%	79,306人
65歳以上	76,156人	67.7%	112,431人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察等)	122,343人	39.5%	310,056人
合計	534,063人	53.5%	997,496人
開館日数	162日	51.3%	316日
1日あたり観覧者数	3,297人	104.4%	3,157人

※ 平成29年10月1日から平成30年3月31日まで、ホール等改修工事の実施のため常設展示室を休室した。

(2) 企画展

東京都江戸東京博物館のミッションに沿った企画展を3回実施した。

① 戦時下東京のこどもたち

会 期 平成29年3月7日(火)～5月7日(日)

会 場 常設展示室 5F 企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 昭和20年3月10日の東京大空襲から72年たち、当時の体験が語り継がれる機会が少なくなってきた。国民学校、学童疎開、勤労動員、東京大空襲など戦時下の暮らしを当時のこどもたちの言葉や体験、ゆかりの品々を通して振り返った。

若い世代や対象とした現代の子供たちに平和の尊さを考える機会とした。

担 当 松井かおる(事業企画課展示事業係)・川口友子(事業企画課展示事業係)

② 発掘された日本列島 2017

会 期	平成 29 年 6 月 3 日(土)～7 月 23 日(日)
会 場	常設展示室 5F 企画展示室
主 催	文化庁、東京都、東京都江戸東京博物館、東京新聞、全国新聞社事業協議会
協 力	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社
後 援	全国史跡整備市町村協議会
内 容	文化庁との共催で、最新の発掘調査の成果を公開する巡回展。今年度は新発見考古速報として、旧石器時代から現代まで全国から 17 の遺跡の速報展示を行った。 特集として、発掘された水中遺跡、熊本地震の影響による装飾古墳の被害報告も展示した。また、地域展では「“速報”四谷一丁目遺跡-麴生産にみる江戸・東京-」と題し、具体的な江戸の町のありかたを探ることができる町屋調査として注目されました、JR 四ツ谷駅前の再開発事業にともなう大規模発掘調査をいち早く紹介した。
担 当	齋藤慎一(事業企画課展示事業係)・津田紘子(事業企画課展示事業係)

③ 徳川将軍家へようこそ

会 期	平成 29 年 8 月 11 日(金・祝)～9 月 24 日(日)
会 場	常設展示室 5F 企画展示室
主 催	京都 東京都江戸東京博物館、公益財団法人徳川記念財団
内 容	公益財団法人徳川記念財団が所蔵する歴代将軍ゆかりの品々を展示し、15 代にわたる将軍たちと徳川家の姿を紹介した。将軍だけでなく、初公開の屏風や天璋院・和宮の衣装なども展示した。
担 当	柳田直美(公益財団法人徳川記念財団)、林晃之介(公益財団法人徳川記念財団) 江里口友子(事業企画課展示事業係)、 小林愛恵(事業企画課展示事業係)、川口友子(事業企画課展示事業係)

2 分館(江戸東京たてももの園)

(1) 野外収蔵(分館)

「江戸東京たてももの園」において、現地保存が不可能な文化的・歴史的価値の高い建造物を移築・復元し、保存・展示する。さらに、復元建物の内部では生活民俗資料の展示を行うとともに、町並みを再現・創造し、優れた建築文化の理解に役立つ展示を行う。また、四季折々の行事や遊び、伝統工芸の実演を行う。

〔入園者実績〕

区 分	平成29年度(A)	対前年比(A/B)	平成28年度(B)
一 般	102,732人	106.1%	96,762人
大学生・専門学校生	14,655人	116.5%	12,571人
高校生、都外中学生	3,745人	110.0%	3,403人
65歳以上	33,331人	109.5%	30,428人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動等)	98,013人	103.4%	94,737人
合 計	252,476人	106.1%	237,901人
1日あたり観覧者数	812人	106.4%	763人

① 収蔵建造物の展示

- ・ 30棟の復元建造物内の展示により、江戸東京の生活や商いの諸相を明らかにする。
- ・ 季節ごとに演示品や建具の展示替えを行った。

② 情景再現事業

来園者に復元建造物の歴史的価値をより深く理解いただくため、季節ごとの催しとして、春「こどもの日イベント」、夏「下町夕涼み」、秋「紅葉とたてもののライトアップ」などの各イベントを行った。

・ こどもの日イベント

内 容 おつかいゲーム、ベーゴマ大会、兜・風車づくりなど、昭和中期における子供の遊びを演出した。

期 間 平成29年5月4日(木・祝)・5日(金・祝)

会 場 園内全体

参加者数 10,075人(当日来園者)

・ 七夕のつどい

内 容 七夕の折り紙講座や短冊に願いごとを書き込むなど、昭和中期における初夏の風情を演出した。

期 間 平成29年7月1日(土)・2日(日)

会 場 西ゾーン・吉野家、東ゾーン・下町中通りなど

参加者数 1,788人(当日来園者)

・ 下町夕涼み

内 容 盆踊り、こども神輿、夜店など、昭和中期における東京下町地域の夏祭りや夕涼みの風情を演出した。

期 間 平成29年8月5日(土)・6日(日)

会 場 園内全域

参加者数 11,980人(当日来園者)

- ・体験！発見！職人さん

内 容 東京の伝統工芸士を講師とする体験、見学プログラムによって伝統工芸の理解を促した。

期 間 平成29年10月21日（土）・22日（日）

会 場 東ゾーン

参加者数 379人（当日来園者）

- ・紅葉とたてもののライトアップ

内 容 園内建造物の照明を灯し、外壁にやわらかな光を当て、夜のたてもの園という非日常的空間を演出した。

期 間 平成29年11月24日（金）・25日（土）・26日（日）

会 場 園内全域

参加者数 9,472人（当日来園者）

- ・江戸の正月を楽しもう

内 容 太神楽、関野町餅つき歌（小金井市無形民俗文化財）と正月らしい事業を実施した。

期 間 平成30年1月2日（火）・3日（水）

会 場 東ゾーン

参加者数 8,383人（当日来園者）

- ・正月の昔あそび

内 容 書き初め、双六、福笑いなどの遊びとお囃子など、正月にふさわしい催しを実施した。

期 間 平成30年1月6日（土）・7日（日）

会 場 園内全体

参加者数 3,797人（当日来園者）

- ・たてもの園フェスティバル

内 容 「けんちく体操」やスタンプラリーなど、建造物に親しむ講座等を実施した。

期 間 平成30年3月21日（水・祝）～28日（水）

会 場 園内全体

参加者数 16,086人（当日来園者）

- ・伝統工芸の実演

内 容 復元建造物内で、現代東京に伝わる各種の伝統工芸の製作実演を行い、職人の手わざを体感できるようにした。

実施項目 東京銀器／和竿／三絃師／表具師／木工建具／染色補正／村山大島紬／琴・三味線／江戸鼈甲／浮世絵木版画／手描友禅／陶芸／建具組子／錆金具工芸／念珠／牙彫刻／市松人形／江戸切子／彫金／手描友禅／籐工芸／螺鈿蒔絵／金工／東京手描友禅

期 間 平成29年4月～平成30年3月のうち24日間

会 場 江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他

・綱島家年中行事

内 容	世田谷区岡本に立地していた復元建造物「綱島家」を舞台に、農家の年中行事を再現した。
実施項目	梅干しづくり／盆、梅の土用干し／十五夜飾り／十三夜飾り／大根干し／小正月／繭玉飾り／節分
期 間	平成29年4月～平成30年3月
会 場	江戸東京たてもの園 綱島家他

・ちょっと涼しいたてもの園

内 容	伝統的な「涼」のとり方から、ミストシャワーまで、暑い夏をのりきる暮らしの工夫を体感できるよう演出した。
実施項目	夏仕様の建具／風鈴の展示／日傘の貸し出し／打ち水／グリーンゲートの設置／ミストシャワーなど
期 間	平成29年7月25日（火）～9月3日（日）
会 場	江戸東京たてもの園 川野商店、花市生花店、西川家別邸、八王子千人同心組頭の家他

③復元建造物の管理・保全

復元建造物の日常的な点検、復元建造物の修繕工事、建造物の燻蒸、展示清掃、襖・障子・畳 の替え工事及び劣化調査等を実施した。

④教育普及事業【ミュージアムトーク】

学芸員による展示解説。毎月1回（第4土曜日）に実施。復元建造物や特別展について詳しく紹介した。

〔内 容〕

- 4月22日（土）：特別展「川崎平右衛門」みどころ 眞下祥幸（学芸員）
- 5月27日（土）：丸二商店 阿部由紀洋（学芸員）
- 6月24日（土）：ル・コルビュジエと前川國男 米山勇（研究員）
- 7月1日（土）・2日（日）：七夕ミュージアムトーク 友野千鶴子（学芸員）
- 7月22日（土）：夏の景観 蚊帳よもやま話 友野千鶴子（学芸員）
- 8月26日（土）：ル・コルビュジエと前川國男 米山勇（研究員）
- 9月23日（土）：東京のたてものと文学Ⅴ 湯川説子（学芸員）
- 10月28日（土）：常盤台写真場 米山勇（研究員）
- 11月25日（土）：万徳旅館と青梅街道 眞下祥幸（学芸員）
- 12月23日（土）：小寺醤油店と昭和の暮らし 新田太郎（学芸員）
- 1月27日（土）：「武蔵野の歴史と民俗」みどころ 丸山はるか（学芸員）
- 2月24日（土）：海を渡って来た奄美の高倉 友野千鶴子（学芸員）
- 3月24日（土）：スペシャルミュージアムトーク「看板建築の世界と魅力」
阿部由紀洋（学芸員）・米山勇（研究員）

⑤ 教育普及事業【たてもの園セミナー（えどはくカルチャー）】

- 1月27日（土） 『たてものと自然』
 - ・「都市と造園・園芸・雑草」
講師：石川初 参加者：102名
 - ・「格闘と共生－藤森式建築と自然」

- 講師：藤森照信 参加者：105名
・ディスカッション「建築・都市・自然」
講師：石川初・藤森照信・米山 勇 参加者：88名

⑥ 特別展開連事業

特別展に関連した各種事業を実施した。

- ・講演会「川崎平右衛門」（4月9日「川崎平右衛門」関連事業） 参加者：125人
- ・特別演奏会「前川國男邸でのデュオ・コンサート」（6月9日「ル・コルビュジエと前川國男」関連事業） 参加者：25人
- ・見学会「上野の森のル・コルビュジエと前川國男」（6月29日、7月28日、8月12日「ル・コルビュジエと前川國男」関連事業） 参加者：計109人
- ・シンポジウム「ル・コルビュジエと前川國男、日本のモダニズム」（7月2日「ル・コルビュジエと前川國男」関連事業） 参加者：202人
- ・講演会「ル・コルビュジエと前川國男がもたらしたもの」（9月2日「ル・コルビュジエと前川國男」関連事業） 参加者：157人
- ・ボウチ唄の実演と体験（「武蔵野の歴史と民俗」関連事業）

⑦ 教育普及事業【スクールプログラム】

「昔暮らし体験」「職場体験学習」等を実施した。

- ・昔暮らし体験
園内茅葺き民家内などで、石臼での粉ひきや火鉢体験、昔の道具探しなどを実施した。
参加人数 43校 3,606人
- ・職場体験学習
参加人数 5校 15人

⑧ 教育普及事業

- ・情景再現事業の中で子供向け教育普及事業を実施した。
「体験！発見！職人さん」 左官体験、大工体験
「たてももの園フェスティバル」 多摩産材を利用したたてももの園わくわくマグネットづくり、たてもものなぞ解きラリー 他
- ・園内にて復元建造物を活用し、常時、外国人向け教育普及事業を実施した。
「小寺醤油店」で量り売り体験、「川野商店」で和傘体験、「常盤台写真場」で写真撮影体験

⑨ その他の事業

【ビジターセンター展示】

- ・小金井公園の桜写真展
平成29年4月18日（火）～5月7日（日）
5月9日（火）～5月21日（日） 4,202人
- ・小金井薪能写真展
平成29年8月15日（火）～27日（日） 1,080人

- ・小金井公園の桜写真・江戸東京の花見展
平成 30 年 3 月 20 日（火）～3 月 31 日（土） 3,450 人

【東京大茶会 2017】

平成 29 年 9 月 24 日（土）・25 日（日） 入園者数 8,029 人

【正月イベント】

平成 30 年 1 月 2 日（火）・3 日（水） 入園者数 8,383 人

（2）展覧会

① 川崎平右衛門－武蔵野新田開発の立役者

会期：平成 29 年 4 月 1 日（土）～5 月 7 日（金）

入園者数：49,076 人

（平成 28 年度分会期：2/7～3/31 全会期入園者数：81,570 人）

江戸時代、農政家として活躍した川崎平右衛門の生涯をとり上げた。自らの能力で、武蔵野の村名主から幕臣となり、多方面で成果を挙げた平右衛門の生涯を振り返り、近世日本の農村経営や土木技術、柔軟な人材登用のあり方などを紹介した。また、地域の発展に尽くした先人の具体的事例として、近隣の小学校の副読本でも紹介されるこの人物を取り上げることで、学校教育との連携を深めることもできた。

② 公益財団法人東京都歴史文化財連携事業「世界遺産登録記念 ル・コルビュジエと前川國男」

会期：平成 29 年 5 月 30 日（火）～9 月 10 日（日）

入園者数：55,251 人

国立西洋美術館の世界遺産登録 1 周年を記念して、その設計者であるル・コルビュジエの作品を詳しく解説した。また、弟子のひとりである前川國男らに与えた影響について紹介し、当園復元建造物の前川國男邸の特徴を改めて紹介した。東京都美術館及び東京文化会館との財団内連携事業とし、館を横断した展示と関連事業を実施した。

③ 武蔵野の歴史と民俗－江戸東京たても園収蔵品展－

会期：平成 29 年 9 月 26 日（火）～平成 30 年 3 月 4 日（日）

入園者数：101,219 人

園が収蔵する旧武蔵野郷土館資料のうち、同郷土館の成り立ちにつながる「武蔵野博物館」及び「東京郷土資料陳列館」を取り上げると共に、「土製耳飾」（調布市下布田遺跡出土：国指定重要文化財）をはじめとした考古資料、生業や生活、信仰、娯楽に関する民俗資料など、約 250 点を紹介した。

④ 看板建築

会期：平成 30 年 3 月 20 日（火）～3 月 31 日（土）

入園者数：22,566人

(平成30年度分会期：4/1～7/8 全会期入園者数：90,395人)

関東大震災後の東京に建った「看板建築」は、ファサードの特徴的な意匠と、防火のために使用した素材の工夫から、近年になって歴史的建造物としての価値を高めている。当園に移築・復元されている武居三省堂、花市生花店などの看板建築の魅力を伝えるとともに、丸二商店等の修繕の方法などについて紹介した。

II 特別展示

「3T戦略」(Target 対象入館者、Timeliness 時宜、Top of sales point 目玉資料)のもと、時代やジャンルなどバラエティー豊かなラインナップの特別展を開催し、新たな来館者層の開拓を目指した。

また、日頃の調査研究の成果と充実した収蔵品を紹介した特別展では、江戸博の独自性をアピールすることができた。運営面では、関連事業やタイアップ企画の実施、各種チケットの販売、協力金方式による収入率アップなど、コスト意識を踏まえて事業を推進した。

平成29年度の特別展は、延べ84日間の会期に計182,861人の観覧者を迎えることができた。

1 「江戸と北京-18世紀の都市と暮らし」展

期 間	平成29年4月1日(土)～平成29年4月9日(日)延べ8日間 *全体の会期は、平成29年2月18日(土)～4月9日(日)延べ44日間
会 場	1階 特別展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、朝日新聞社、中国文物交流中心、故宮博物院、首都博物館
後 援	外務省、中国大使館、中国人民対外友好協会
企画協力	黄山美術社
協 力	全日本空輸
内 容	江戸の人口が100万人を超えた18世紀は、北京が清朝の首都として最も繁栄を極めた時代で、当時の世界の各都市と江戸をグローバルな視点で比較、検討することは重要といえよう。 本展では、アジア世界の安定期ともいえる18世紀を中心に、都市・江戸と北京の歴史や生活・文化を展覧し、比較した。これまで清朝の芸術や宮廷文化に関する展覧会は数多く開かれてきたが、北京の都市生活を江戸と比較する企画は初めてであった。共通性と差異を明らかにすることで、それぞれの文化と両国の相互理解を深め、両都市の未来と友好を考える契機とした。なお、北京首都博物館との共同研究に基づく交流展覧会であるため、東京にて本展を開催後、北京でも江戸の資料を中心とした展覧会を開く。
観 覧 料	一般1,400円、大学・専門学校生1,120円、小中高校生・65歳以上700円
入場者数	11,209人(1日平均 1,401人)〈平成29年度〉
関連イベント	(1) ブロガー特別内覧会 日時：3月15日(水) 18:30～20:00

会場：1階 特別展示室

参加費：無料

参加者数：83人

担 当 江里口 友子（事業企画課 展示事業係）
杓沢 博行、窪田 直子、胡艶紅（都市歴史研究室）

2 「没後150年 坂本龍馬」展

期 間 平成29年4月29日（土・祝）～平成29年6月18日（日）延べ46日間

会 場 1階 特別展示室

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社、
特別協力 京都国立博物館

協 賛 野崎印刷紙業

内 容 明治維新から150年を経ようとする現在、幕末史の主役の一人である坂本龍馬の33年の生涯を没後150年を期として回顧し、その時代の意義を新たに考える特別展覧会とした。坂本龍馬の政治的・歴史的な評価はそれぞれあるが、今回の展示では主に残された龍馬の手紙に焦点をあて、龍馬ならではの文章表現を解き明かしつつ坂本龍馬の人物像を伝えることに貢献した。また京都国立博物館が収蔵する坂本龍馬に関わる遺品や、近年新たに解明された坂本龍馬関係史料を集め展覧した。
刀剣ブームとも相まって歴史ファンはもとより、若年層、女性層にもアピールした。

観 覧 料 一般 1,350円、大学・専門学校生 1,080円、
小中高校生・65歳以上 680円

入場者数 116,017人（1日平均 2,522人）

関連イベント

（1）刀剣乱舞DAY

日時：5月25日（木）～28日（日） / 4日間

（2）特別展「没後150年 坂本龍馬」記念講演会

日時：①5月5日（金・祝） 14:00～15:30（講師 末兼俊彦氏（東京国立博物館研究員）

②5月7日（日） 14:00～15:30（山本一力氏（作家））

会場：江戸東京博物館・1階ホール

参加費：無料

参加者数：①201人、②308人

担 当 田原 昇、小酒井 大悟（事業企画課 展示企画係）

3 2017年NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」特別展「戦国！井伊直虎から直政へ」

期 間 平成29年7月4日（火）～平成29年8月6日（日）延べ30日間

会 場 1階 特別展示室

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、NHK、NHKプロモーション

協 賛 日本写真印刷、ハウス食品グループ本社、ロート製菓

特別協力 浜松市博物館

- 内 容 幕末の大老・井伊直弼の先祖にして、徳川家康の重臣・井伊直政の養母となる井伊直虎を描くドラマに関連した展覧会。
井伊直虎は存亡の危機に見舞われた家を立て直すため、自らの手で運命を切り開き戦国を生き抜いた。同時代に生きた今川氏真や徳川家康などの戦国武将や周辺の人物、特に徳川四天王の一人と数えられるまでに至った井伊直政を作品を通して浮き彫りにするとともに、徳川幕府で五人の大老を出すに至った井伊家伝来の至宝も合わせて展覧した。
一般的な知名度の低い人物を取り上げた大河ドラマの展覧会として、テーマを当時の時代背景に広げて企画し、ドラマを見ていない方も満足できる内容を工夫した。会場内での撮影コーナーやSNSによる波及効果等も評価された。
- 観 覧 料 一般1,350円、大学・専門学校生1,080円、高校生・65歳以上680円
入場者数 55,635人（1日平均 1,855人）
- 関連イベント
特別展 「戦国！井伊直虎から直政へ」 記念講演会
日時：7月6日（木） 14:00 開演
会場：江戸東京博物館・1階ホール
講師：小和田哲男（大河ドラマ「おんな城主 直虎」時代考証）
参加費：無料
参加者数：276人
- 担 当 齋藤 慎一（事業企画課 展示事業係）
杉山 哲司（事業企画課 展示企画係）

Ⅲ 資料収集

1 資料収集

貴重な文化遺産を継承していくため、東京都と調整を図りながら厳選した資料収集を行った。

平成29年度は、資料収蔵委員会（収集部会・評価部会）を2回開催し、第1回目（10月18日）では購入資料を、第2回目（1月25日）では購入資料・寄贈資料を付議した。

（1）平成29年度資料収集点数 （単位：点）

区 分	購 入	寄 贈	その他	計
標 本 資 料	614	154	0	768
図 書 資 料	592	0	2,758	3,350
映像音響資料	108	19	0	127
合 計	1,314	173	2,758	4,245

（2）主な収集資料（寄贈資料より）

分 類	資 料 名
静止画	亀戸梅屋敷関係資料 28 点
工芸品	六世尾形乾山（浦野乾哉）の作陶 6 点
日本画・生活民俗・ 文書類	府川家資料 46 点
生活民俗・文書類	裁縫雛形 48 点

2 資料制作

鷹野御成図（龍ヶ崎市歴史民俗資料館蔵） 1巻、紙本着色の複製を制作した。

3 収蔵品の購入

常設展・企画展・特別展に有効に利用される資料、及び利用頻度が高く保全面で留意する必要がある資料を優先し、資料総体の消耗を防ぎつつ、魅力ある博物館運営が図れるよう、資料を購入した。

〔主な購入資料〕

分類	資料名
絵画	浅草寺図 歌川豊春／画
絵画	柴田是真絵手控類 柴田是真／画
絵画	柴田是真版画・墨版・刷物類 柴田是真／画
絵画	未広五十三次 歌川広重（二代）・月岡芳年・橋本貞秀／画
絵画	中村芝翫変化ノ内 歌川国貞／画
生活民俗	夜着 孔雀模様
典籍	山王御祭礼番附 豊原国周／画
典籍	Tokyo Capital of Japan Reconstruction Work Tokyo Municipal Office／発行
印刷物	吉原新宅全図
印刷物	愛と希望の祭典（パラリンピック東京大会） 大津留／編

IV 資料管理・保全

1 資料管理・保全

(1) 資料の修理

94点の修理を行った。

〔内 訳〕

資料分類	点数
標本資料	45
絵画	1
工芸品	2
文書類	38
典籍	3
図書資料	49
図書	49

(2) 資料の収蔵

平成30年3月末日現在、611,707点（データ点数）を収蔵、管理している。

【内 訳】

標本資料	321,044点
映像音響資料	42,192点
図書資料	248,471点

(3) 資料の貸出

平成30年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、5件（36点）の資料を貸し出した。

(4) 寄託資料の更新

2件、4,192点の寄託資料の更新を行った。

2 コンピュータシステムの運営

資料の収集から資料の各種事業(常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等)への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム(資料情報システム)の管理及び運用を行った。

V 調査・研究

1 都市歴史研究室における研究テーマ

(1) 年間特定研究「外からみた江戸東京」

- ①外国人がみた江戸東京
- ②地方人がみた江戸東京

(2) 共同研究

- ① 比較都市研究 江戸と大坂（大阪歴史博物館との共同研究）
- ② 在外日本コレクションの所在調査（国立歴史民俗博物館との共同研究）

(3) 基盤研究

- ①小林淳一 モース・シーボルト資料の基礎調査
- ②岡塚章子 館蔵古写真の基礎調査
- ③市川寛明 館蔵米屋田中家文書の基礎調査
- ④田中実穂 館蔵『草木育草』（岩崎常正著）の基礎研究
- ⑤沓沢博行 館蔵写真絵葉書の地域別分類および目録化
- ⑥朴 美姫 館蔵隅田川関係資料調査
- ⑦窪田直子 館蔵田中久重関係資料の基礎調査
- ⑧胡 艶紅 中国人留学生在がみた近代東京
- ⑨落合則子 勝海舟日記の基礎研究

2 シンポジウムの開催

「浅草地域のあゆみⅡ ―近代化と盛り場の変容―」

開催日 平成29年8月5日（土）

会場 1階 ホール

参加人数 287人

報告

小沢詠美子（成城大学）「東京の近代化と浅草花屋敷」
佐藤健二（東京大学）「凌雲閣十二階からなにが見えたか」
杳沢博行（当館）「興行街から活動写真街へー興行の変遷に見る浅草六区の近代」
栢木まどか（東京理科大学）「浅草における寺院建築の近代化」

【パネルディスカッション】

問題提起・司会：市川寛明

3 書籍の編集・刊行

(1) 『調査報告書 第33集』の刊行

名称 『浅草地域のあゆみⅡー近代化と盛り場の変容ー』

発行年月日 平成30年3月31日

発行部数 1,000部

構成

1. カラー口絵

2. 論考

小沢詠美子「東京の近代化と浅草花屋敷」

佐藤健二「凌雲閣十二階から何が見えたか」

杳沢博行「興行街から活動写真街へー公文書から見る明治末浅草六区の変容」

栢木まどか「浅草における寺院建築の近代化」

3. パネルディスカッションの記録

4. 館蔵絵葉書で見る明治・大正の浅草（杳沢博行）

(2) 『東京都江戸東京博物館紀要 第8号』の刊行

発行年月日 平成30年3月28日

発行部数 1,400部

構成

1. 行吉正一・田中実穂「えどはくカルチャー「多摩文学歴史散歩」（全3回）の記録

2. 栗原智久「東京古地図 デジタルアーカイブ調査」

3. 畑尚子「薩摩藩士仙波市左衛門の対幕府交渉と篤姫の動向

ー江戸東京博物館所蔵「薩摩藩士仙波家文書」の紹介ー」

4. 田中実穂「江戸時代の園芸書 岩崎灌園著『草木育種』前編について」

5. 市川寛明「元禄～享保期における日用人足請負商人米屋田中家の発展過程」

(3) 『江戸東京博物館史料叢書9 江戸大伝馬町名主馬込家文書旧記』の刊行

発行年月日 平成30年3月15日

発行部数 1,000部

構成

口絵

①（旧記 訴訟・生業）

②（旧記 上水・下水・橋）

③旧記三（家督）

④（旧記 土地）

⑤（旧記 金銀銭）

⑥（旧記 家財書上・祭礼）

⑦旧記七（火事）

VI 図書室等の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。

閉室期間中（平成29年10月1日（日）～30年3月31日（土））は、蔵書整理、開架書籍の入替えなどを実施した。

1 図書室利用状況

入室者数	18,502人
閉架図書請求数	1,160冊
マイクロフィルム請求数	109件
図書複写申請数（モノクロ）	4,897枚
図書複写申請数（カラー）	593枚
マイクロフィルム複写申請数	1,930枚
レファレンス対応数	1,055件
インフォメーション対応数	1,149件
WEB-OPAC検索利用数	2,111,580件
ALC検索利用数	84,269件

2 夏休み！子ども歴史学習相談

夏休みの自由研究や調べ学習に関するレファレンス対応を図書室で行った。実施にあたっては専用書架を設け、図書リストを作成し、事前周知を行った。

期 間 平成29年7月15日（土）～9月3日（日）

対応人数 583人

3 図書室内ミニ展示

図書室が所蔵する資料から、話題性のあるテーマで特集展示を計3回行った。

展示テーマ	会 期	担 当
「生誕 150 周年 南方熊楠」	2月1日～4月28日	式淳子（司書）
「没後 150 年 坂本龍馬の最期 - 土佐人にどう伝わったか？」	5月14日～6月30日	栗原智久（司書）
えどはくカルチャー「和綴じ本をつくってみよう！」関連	7月1日～9月30日	楯石もも子（司書）

4 特集図書コーナー

企画展・特別展や時事に合わせて図書の特集コーナーを設置した。

特集テーマ	会 期	担 当
特別展「江戸と北京 18 世紀の都市と暮らし」	2月18日～4月9日	式淳子（司書）
特集「戦時下東京のこどもたち」	3月18日～5月7日	小宮山めぐみ（司書）
特別展「坂本龍馬」	4月29日～6月18日	栗原智久（司書）
企画展「発掘された日本列島」	6月3日～7月23日	阿部陽子（司書）
特別展「おんな城主直虎」	7月4日～8月6日	井上美奈子（司書）
シンポジウム「浅草地域のあゆみⅡ」	8月5日～9月30日	井上美奈子（司書）
企画展「徳川宗家」	8月11日～9月24日	楯石もも子（司書）

5 職場体験受入

江戸東京博物館で職場体験の受入をした中学校のうち、下記期間は図書室において、図書配架、図書出納サービス、図書装備、データ入力等の作業を行った。

平成29年6月1日 板橋区立加賀中学校 2人

平成29年7月13日 墨田区立両国中学校 4人

VII 教育普及

1 えどはくカルチャー

都市歴史研究室が行っている調査研究活動の成果をわかりやすく解説する講座、特別展・企画展の関連講座、合計73講座を開催した。

期 間	平成29年4月18日（火）～平成30年3月22日（木）
会 場	江戸東京博物館（ホール、会議室）
受 講 料	各講座 一般 1,000円（一部例外あり、セット割引あり） 友の会、ボランティア 800円（同上）
受講者数	8,127人
講 座 数	73講座

春講座 計23回(3,467人) ※イタリックは外部講師

回数	実施日	講 座 名	講 師	参加人数
1	4月18日(火)	プレ古文書講座『天保改革町触史料』を読むⅢ①	市川 寛明	122
2	4月19日(水)	江戸の暮らしと動物①動物を飼う・競う	沓沢 博行	70
3	4月20日(木)	黄表紙挿絵の世界①黄表紙挿絵と浮世絵師—清長も、歌麿も、北斎もいた—	鶴岡 明美	173

4	4月25日(火)	プレ古文書講座『天保改革町触史料』を読むⅢ②	市川 寛明	118
5	4月26日(水)	江戸のデザインあそび—山東京伝の見立て小紋帳—	小林 愛恵	76
6	4月27日(木)	「浮世絵師列伝」Ⅶ 番外編①浮世絵の肉筆画と版画—技法と工房—	小澤 弘	184
7	5月11日(木)	「浮世絵師列伝」Ⅶ 番外編②浮世絵名品100選(1)	小澤 弘	181
8	5月16日(火)	徳川幕府は幕末の品川沖をどう利用したか ①幕末の国家プロジェクト 品川御台場の普請事業	富川 武史	109
9	5月18日(木)	「浮世絵師列伝」Ⅶ 番外編③浮世絵名品100選(2)	小澤 弘	167
10	5月19日(金)	特別展「没後150年 坂本龍馬」関連講座 ①坂本龍馬の手紙を読み解く—女性への手紙—	宮川 禎一	260
11	5月24日(水)	将軍家の祈祷所—深川霊運院を中心に—	畑 尚子	88
12	5月25日(木)	黄表紙挿絵の世界②特色ある挿絵の表現—奇妙な話を絵にすると—	鶴岡 明美	144
13	5月30日(火)	徳川幕府は幕末の品川沖をどう利用したか ②遣欧使節団の旅立ちと西欧諸国見聞	富川 武史	111
14	5月31日(水)	江戸の暮らしと動物②動物を見る・祈る	沓沢 博行	67
15	6月1日(木)	「浮世絵師列伝」Ⅶ 番外編④浮世絵名品100選(3)	小澤 弘	175
16	6月2日(金)	特別展「没後150年 坂本龍馬」関連講座 ②坂本龍馬と長崎	岡本健一郎	255
17	6月8日(木)	「浮世絵師列伝」Ⅶ 番外編⑤印象派への影響と世界の浮世絵コレクション	小澤 弘	175
18	6月9日(金)	「海舟日記」を読む①	落合 則子	198
19	6月14日(水)	モダニズムと日本①モダニズムの世界—誕生と展開—	米山 勇	113
20	6月16日(金)	特別展「没後150年 坂本龍馬」関連講座 ③坂本龍馬と江戸	田原 昇	247
21	6月22日(木)	黄表紙挿絵の世界③黄表紙挿絵と文字表現—絵とことばで生み出す「笑い」—	鶴岡 明美	149
22	6月28日(水)	モダニズムと日本②日本のモダニズム名作選	米山 勇	118
23	6月30日(金)	「海舟日記」を読む②	落合 則子	167

夏講座 計24回(2,595人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
24	7月4日(火)	列島展関連講座①沈没船が語る歴史	赤司 善彦	117

25	7月5日(水)	江戸博の館蔵資料から①「松の徳葵の賑ひ」第十一代将軍徳川家齊の子女	近松 鴻二	124
26	7月11日(火)	列島展関連講座②海のシルクロード	木村 淳	122
27	7月13日(木)	直虎展関連講座①「井伊直虎・直政の時代～展覧会の見どころ～」	杉山 哲司	102
28	7月20日(木)	直虎展関連講座②「直虎の時代の絵画」	石上 充代	91
29	7月26日(水)	江戸博の館蔵資料から②「大坂商人大根屋文書」薩摩藩の債務処理	近松 鴻二	127
30	7月27日(木)	直虎展関連講座③「中世井伊谷の景観」	齋藤 慎一	113
31	8月2日(水)	「沈黙」の舞台 ～トモギ村・五島・長崎・江戸キリシタン屋敷～	松川 隆治 本馬 貞夫	140
32	8月3日(木)	浮世絵師列伝Ⅷ番外編2 浮世絵と絵本①	小澤 弘	148
33	8月9日(水)	和綴じ本を作ってみよう！(W講座)	楯石もも子	19
34	8月9日(水)	和綴じ本を作ってみよう！(W講座)	楯石もも子	20
35	8月15日(火)	和楽器を体験！ 水道管尺八	田嶋 謙一 川村 葵山	17
36	8月16日(水)	江戸の「趣向」と「洒落」を読み解く①「大小」を読み解く一粋人の工夫と月の大小の仕掛け一	岩崎 均史	192
37	8月17日(木)	浮世絵師列伝Ⅷ番外編2 浮世絵と絵本②	小澤 弘	148
38	8月23日(水)	江戸博の館蔵資料から③前島密の「江戸遷都意見書」首都東京誕生の決定打	近松 鴻二	148
39	8月29日(火)	江戸東京花めぐり①江戸の菊 一花を咲かせたその後	田中 実穂	69
40	8月30日(水)	江戸の「趣向」と「洒落」を読み解く②「判じ絵」を読み解く一江戸庶民の目で見るとなぞなぞ一	岩崎 均史	198
41	8月31日(木)	浮世絵師列伝Ⅷ番外編2 浮世絵と絵本③	小澤 弘	146
42	9月5日(火)	江戸の人宿＝米屋田中家の歴史①	市川 寛明	105
43	9月12日(火)	江戸東京花めぐり②薔薇園の誕生 一江戸から東京へ	田中 実穂	65
44	9月14日(木)	写真絵葉書で旅する明治大正の東京①浅草・上野を旅する	沓沢 博行	103
45	9月19日(火)	江戸の人宿＝米屋田中家の歴史②	市川 寛明	110
46	9月26日(火)	江戸東京花めぐり③花名所の移り変わり 一時代とともに	田中 実穂	69
47	9月28日(木)	写真絵葉書で旅する明治大正の東京②日本橋・銀座を旅する	沓沢 博行	102

秋講座 計 11 回(646 人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
48	10月12日(木)	浮世絵師列伝IX番外編3①北斎の富士図「富嶽三十六景」と『富嶽百景』	小澤 弘	161
49	10月24日(火)	歴史散歩「大名庭園を見る・歩く①六義園」	田中 実穂	16
50	10月26日(木)	浮世絵師列伝IX番外編3②安政の江戸大地震と広重の「名所江戸百景」	小澤 弘	150
51	11月2日(木)	プレ古文書講座 声に出して読む古文書①	市川 寛明	41
52	11月10日(金)	盛り場両国のにぎわい①相撲と見世物	沓沢 博行	37
53	11月16日(木)	プレ古文書講座 声に出して読む古文書②	市川 寛明	40
54	11月30日(木)	プレ古文書講座 声に出して読む古文書③	市川 寛明	28
55	11月24日(金)	盛り場両国のにぎわい②川開きと水垢離	沓沢 博行	36
56	12月1日(金)	武蔵野の新田開発史①戦国～江戸時代前期の武蔵野と新田開発	小酒井大悟	60
57	12月8日(金)	武蔵野の新田開発史②江戸時代中期～幕末の武蔵野と新田開発	眞下 祥幸	62
58	12月12日(火)	歴史散歩「大名庭園を見る・歩く②小石川後楽園」	田中 実穂	15

新春講座 15 回(1,419 人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
59	1月16日(火)	江戸の人宿と日用座①	市川 寛明	139
60	1月25日(木)	浮世絵師列伝X番外編4①PRとしての浮世絵—摺物、引札、評判美人や人気役者の錦絵	小澤 弘	138
61	1月26日(金)	四谷塩町一丁目の庶民生活①四谷塩町一丁目の概要と明治維新	近松 鴻二	104
62	1月27日(土)	たてもの園セミナー「たてもの自然・庭」 ①「都市と造園・園芸・雑草」	石川 初	102
63	1月27日(土)	たてもの園セミナー「たてもの自然・庭」 ②「格闘と共生—藤森式建築と自然」	藤森 照信	105
64	1月27日(土)	たてもの園セミナー「たてもの自然・庭」 ③ディスカッション「建築・都市・自然」	石川 初 藤森 照信 米山 勇	88
65	1月30日(火)	江戸の人宿と日用座②	市川 寛明	116

66	2月8日(木)	浮世絵師列伝X番外編4②近代の浮世絵—明治の錦絵と大正新版画	小澤 弘	133
67	2月9日(金)	四谷塩町一丁目の庶民生活②四谷塩町一丁目の住人と庶民金融	近松 鴻二	97
68	2月13日(火)	上野の歴史と東京都美術館のあゆみ①文化・芸術の街 上野の形成	沓沢 博行	107
69	2月27日(火)	上野の歴史と東京都美術館のあゆみ②東京府美術館の設立とその歩み	水田 有子	91
70	3月1日(木)	歴史散歩「大名庭園を見る・歩く①六義園」	田中 実穂	17
71	3月6日(火)	上野の歴史と東京都美術館のあゆみ③戦後美術における東京都美術館の役割	加藤 弘子	77
72	3月20日(火)	上野の歴史と東京都美術館のあゆみ④前川國男と東京都美術館	早川 典子	88
73	3月22日(木)	歴史散歩「大名庭園を見る・歩く②小石川後楽園」	田中 実穂	17

2 国際交流事業

東京都江戸東京博物館と中国・北京首都博物館、韓国・ソウル歴史博物館、中国・瀋陽故宮博物院（平成18年度より参加）の4館で首都における歴史博物館の交流の一環として、平成14年度から毎年輪番制で国際シンポジウムを開催している。

今年度の第16回日中韓博物館国際シンポジウムは、平成29年9月26日・27日、ソウル歴史博物館において開催された。今回はシンポジウムの共通テーマ「都市歴史博物館と都市の記憶」を設定し、計8本の発表があった。

第16回日中韓博物館国際シンポジウム

所 属	発表者	テーマ
北京首都博物館	韓 戦明	首都博物館の事例で見た「都市の記憶」の収集業務
江戸東京博物館	新田太郎	東京における歴史的な生活空間の保存—江戸東京たてももの園の「情景再現」—
瀋陽故宮博物院	張 倩	瀋陽故宮と瀋陽における都市の歴史展望
ソウル歴史博物館	崔享守	都市の記憶を読んで共有する—漢陽都城を中心に—
ソウル歴史博物館	鄭 琇仁	都市の記憶に関する博物館の試みと役割
江戸東京博物館	米山 勇	東京—都市と建築
北京首都博物館	李 梅	物質的記憶の収集による都市の変遷過程に関する考察

3 えどはく寄席

日 程	来館者数の多い時期に開催日を絞り、新緑寄席・ひまわり寄席を実施した。今年度も1日あたりの開催回数には2回から3回の幅を持たせ、時間も来館者の多い時間帯に合わせて実施した。
客 数	36,122人
内 容	伝統芸能の継承・普及及び常設展示室の賑わいの演出を目的に、常設展示室5階中村座前で、からくりの実演、紙切り、かつぼれ、太神楽、邦楽、曲芸などを実演した。内容については新緑寄席やひまわり寄席ではファミリー向け、外国人向けの太神楽や紙切りなどを中心とした構成とし、特にひまわり寄席では夜間開館にあわせ、講談による怪談を実施するなど、特集的な要素を盛り込んだ。

[実績一覧]

日 付	演 目	出 演 者	観客数
4月15日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	632
4月29日	太神楽・曲独楽	鏡味よし乃・やなぎ南玉	637
4月30日	ヴァイオリン演歌・紙切り	マグナム小林・林家花	855
5月1日	奇術・紙切り	藤山大樹・林家花	477
5月2日	奇術・太神楽	藤山大樹・丸一小助・小時	828
5月3日	奇術・太神楽	北見翼・丸一小助・小時	1,167
5月4日	奇術・太神楽	北見翼・鏡味初音	1,106
5月5日	太神楽・紙切り	鏡味正二郎・林家今丸	1,220
5月6日	ヴァイオリン演歌・太神楽	マグナム小林・鏡味味千代	808
5月7日	曲独楽・太神楽	やなぎ南玉・鏡味味千代	741
5月13日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	791
6月12日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	715
7月8日	江戸芸かつぼれ	櫻川ぴん助	680
7月9日	津軽三味線	柴田雅人・匹田大智	855
7月15日	落語・太神楽・講談(怪談)	三遊亭遊吉・鏡味初音・神田阿久鯉	931
7月16日	津軽三味線	白田路明・匹田大智	994
7月17日	津軽三味線	白田路明・匹田大智	751
7月21日	邦楽WS・津軽三味線	柴田雅人・匹田大智・白田路明	109
7月22日	曲独楽・落語・講談(怪談)	やなぎ南玉・桂伸治・神田松鯉	802
7月23日	箏	伊藤江里菜・上田麻里奈	635
7月28日	邦楽WS・箏	柿木原こう・日原暢子・鈴木麻衣	87
7月29日	モダン演芸・落語・講談(怪談)	ボンボンブラザーズ・春風亭柳橋・神田紫	792
7月30日	箏	柿木原こう・鈴木麻衣	642
8月4日	落語(怪談)	柳家蝠丸	171
8月5日	紙切り・奇術・講談(怪談)	林家今丸・伊藤夢葉・神田すみれ	859
8月6日	紙切り・奇術(洋装)	林家今丸・伊藤夢葉	800
8月8日	紙切り・太神楽	青空麒麟児・鏡味よし乃	680
8月9日	太神楽・相撲漫談	鏡味正二郎・一矢	634
8月10日	太神楽・曲独楽	鏡味味千代・やなぎ南玉	663

8月11日	太神楽・バイオリン漫談・落語(怪談)	鏡味味千代・マグナム小林・桂歌助	1,092
8月12日	相撲漫談・太神楽・講談(怪談)	一矢・鏡味よし乃・神田陽子	1,244
8月13日	太神楽・バイオリン漫談	丸市小助・小時・マグナム小林	1,083
8月14日	紙切り・奇術	林家 花・藤山大樹	823
8月15日	紙切り・奇術	林家 花・藤山大樹	1,050
8月16日	太神楽・曲独楽	鏡味正二郎・やなぎ南玉	1,381
8月18日	邦楽WS・尺八・トークセッション	田嶋謙一・川村葵山・大河内淳也・いとうせいこう・平野恵	428
8月19日	モダン演芸・落語・講談(怪談)	ボンボンブラザーズ・立川雲水・一龍斎貞山	878
8月20日	箏	柿木原こう・渡部祐子	627
8月25日	邦楽WS・尺八	田嶋謙一・川村葵山・田辺恵山	155
9月9日	江戸芸かっぱれ	桜川ぴん助社中	712
9月15日	夢からくり	夢からくり一座	973
9月16日	夢からくり	夢からくり一座	1,476
9月17日	夢からくり	夢からくり一座	1,830
9月18日	夢からくり	夢からくり一座	1,308

4 ふれあい体験教室

ふれあいボランティアが企画・運営する伝統的な文化や芸能の体験型事業や、高齢者や子供を対象とした参加型事業を実施した。

実施回数 33件
参加者数 1,405人

[実績一覧]

日程	内容	人数
4月1日	和算パズル	22
4月1日	反古紙で折る小物	58
4月2日	8枚ばねのかざぐるまを作ろう	54
4月15日	鳴り物を鳴らしてみよう	160
4月22日	ときめきキモノ体験	20
4月29日	手描き風鈴を作ろう(両国にぎわい祭り参加教室)	31
4月29日	祭り茶席(両国にぎわい祭り参加教室)	39
4月30日	歴史散歩「広重の名所百景(両国)今昔」(両国にぎわい祭り参加教室)	20
4月30日	藍染のコースターづくり(両国にぎわい祭り参加教室)	61
5月20日	リアンクラフト	24
5月21日	鳴り物を鳴らしてみよう	320
5月27日	歴史散歩「木場～門前仲町へ 下町を歩く」	16
6月3日	歌舞伎の化粧をしてみよう(大人向け)	13
6月3日	和算パズル	29

6月3日	反古紙で折る小物	59
6月10日	万華鏡で遊ぼう	15
6月18日	ぽち袋を摺ろう	16
7月1日	藍色の布を使ったテルテル坊主づくり	63
7月8日	和算パズル	35
7月8日	反古紙で折る小物	18
7月15日	ときめきユカタ体験	46
7月23日	歌舞伎の化粧をしてみよう(子供向け)	16
7月28日	江戸切り子体験教室	22
7月29日	江戸切り子体験教室	22
7月30日	からくり玩具・はしごくだりを作ろう!	30
8月20日	浮世絵摺り体験	24
8月26日	鳴り物を鳴らしてみよう	150
8月27日	ユカタ体験	25
9月2日	和算パズル	24
9月2日	反古紙で折る小物	38
9月9日	秋の建て染め体験	51
9月9日	万華鏡で遊ぼう	12
9月10日	歴史散歩「大手門から半蔵門～桜田門まで」内堀を巡る散歩	18
9月24日	三越すごろくで遊ぼう!	15

5 ミュージアムトーク

日 時 毎週金曜日の16時～16時30分

回 数 計26回

参加者数 1,004人

学芸員による展示解説。企画展や特集展示などの特別企画の他、常設展示各コーナーにおける展示内容を詳しく紹介した。

[実績一覧]

日時	担当	コーナー・テーマ	人数
4月7日	津田紘子	高度経済成長期の東京	15
4月14日	津田紘子	高度経済成長期の東京	18
4月21日	小林愛恵	江戸の四季と盛り場	21
4月28日	小林愛恵	江戸の四季と盛り場	17
5月5日	杉山哲司	江戸城と町割り	24
5月12日	杉山哲司	江戸城と町割り	28
5月19日	川口友子	市民文化と娯楽	24
5月26日	川口友子	市民文化と娯楽	15
6月2日	小酒井大悟	江戸から東京へ	29
6月9日	小酒井大悟	江戸から東京へ	34
6月16日	松井かおる	関東大震災	39

6月23日	松井かおる	関東大震災	21
6月30日	江里口友子	文明開化東京	23
7月7日	東京都埋蔵文化財センター調査研究員	地域展「“速報”四谷一丁目遺跡－麴生産にみる江戸・東京－」みどころ	37
7月14日	東京都埋蔵文化財センター調査研究員	地域展「“速報”四谷一丁目遺跡－麴生産にみる江戸・東京－」みどころ	51
7月21日	東京都埋蔵文化財センター調査研究員	地域展「“速報”四谷一丁目遺跡－麴生産にみる江戸・東京－」みどころ	52
7月28日	西村直子	特集展示「東海道五拾三次展」みどころ	41
8月4日	西村直子	特集展示「東海道五拾三次展」みどころ	42
8月11日	徳川記念財団理事 徳川家広	企画展「徳川将軍家へようこそ」見どころ	107
8月18日	小林愛恵	企画展「徳川将軍家へようこそ」見どころ	114
8月25日	徳川記念財団研究員 行田健晃	企画展「徳川将軍家へようこそ」見どころ	113
9月1日	江里口友子	関東大震災	43
9月8日	松井かおる	モダン東京	29
9月15日	松井かおる	モダン東京	11
9月22日	西村直子	江戸の美	26
9月29日	西村直子	江戸の美	30

6 博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊かにし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館（本館）では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園（分館）では平成8年12月4日からボランティア制度の試行、実施を行った。

本年は、本館263名、分館159名体制により、本館では8,071件のガイド、分館では茅葺き農家燻煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

(1) 本館ボランティア

① 登録人数（平成30年3月31日現在）

展示ガイドボランティア 263名
ふれあいボランティア 28名
合計（延べ人数） 291名

② 活動日時

展示ガイド

火曜日～日曜日（開館日） 10時～16時

毎日20～30名程度のグループで活動

ふれあいスタッフ

9つの班に分かれ、全体で今年度33回の体験教室を実施

③ 活動内容

日本人及び外国人来館者に対する常設展の案内（日本語、英語、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語）

江戸東京の伝統・文化に関するワークショップ（「ふれあい体験教室」）の運営

- ④ 対応件数（平成29年4月～29年9月）
- | | |
|------------|--------|
| 外国語による案内件数 | 4,140件 |
| 日本語による案内件数 | 3,876件 |
| 団体事前案内件数 | 0件 |
| スポット解説 | 55件 |
- ⑤ ボランティア対象の研修
- | | |
|--------------|--------|
| 研修実施回数 | 48回 |
| 研修参加者数（延べ人数） | 2,148人 |

(2) 分館ボランティア

- ① ボランティア活動
- ・登録人数（平成30年3月31日現在） 159名
 - ・茅葺民家の燻煙・園内ガイド
 - ・たてもの園事業への協力
 - ・自主活動
- ② こどもボランティアひじろっ子
- ・活動人数 34人
 - ・活動日 平成29年7月24日（月）～28日（金）
 - ・民家の拭き掃除、ガイドなど

7 人材の育成

江戸東京の歴史と文化に関わる情報と博物館に対する理解を深めるため、さまざまな研修等を実施し、人材育成を図った。

(1) 学芸員実習の受入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

申込数 28校
 受入者数 24名
 期間 平成29年8月30日（水）～9月7日（木）

カリキュラム

	実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1	8月30日 (水)	午前	【オリエンテーション】事業企画課長挨拶、展示事業係長挨拶、実習担当者紹介、実習生自己紹介、諸注意、保険料徴収		展示事業係
			【常設展示】	講義	事業企画課長
		午後	【常設展示見学】	見学	展示事業係
			【常設展示・教育普及活動】	講義	事業企画課長

			【博物館の現状と課題】	講義	副館長
			【事務連絡】		展示事業係
2	8月31日 (木)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【資料の収集と保管】	講義	資料係
			【資料の収集と保管】 バックヤード・収蔵庫見学	見学	資料係
		午後	【資料の収集と保管】 資料の収集と保管・資料情報カードの作成	実習	展示事業係
			展示実習について	講義	展示事業係
【事務連絡】		展示事業係			
3	9月1日 (金)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡		
			【たてもの園の概要】	講義	たてもの園係
			【たてもの園の普及事業】	講義	たてもの園係
			【たてもの園見学】	見学	たてもの園係
		午後	グループワーク	実習	たてもの園係
			グループワーク発表、講評	実習	たてもの園係
			【事務連絡】		展示事業係
4	9月5日 (火)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【展示実習】 展示実習説明、グループ内担当分け	講義	展示事業係
		午後	【図書室】 図書室の使い方	実習	司書
			【展示実習】 グループワーク（展覧会基本計画の立案・施工デザイン・チラシ作成・調査解説）	実習	展示事業係
			【事務連絡】 事務連絡		展示事業係
5	9月6日 (水)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【展示実習】 グループワーク	実習	展示事業係
		午後	【展示実習】 グループワーク	実習	展示事業係
			【展示実習】 展示準備（演示具選定、会場設営）	実習	展示事業係
【事務連絡】 事務連絡		展示事業係			
6	9月7日 (木)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【展示実習】 展示作業（資料搬入、演示具搬入、展示作業）	実習	展示事業係
		午後	【展示実習】 展示作業（資料搬入、演示具搬入、展示作業）	実習	展示事業係

			【展示実習】発表、講評	実習	展示事業係
			【片付け】片付け	実習	展示事業係
			【館長講義】	講義	館長
			【学芸員実習まとめ】反省会、展示事業係長挨拶、事務連絡		展示事業係

(2) 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応するため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

① 訪問学習の実施

学芸員及び博学ボランティア（7名）による歴史学習への対応

参加人数 289人

参加学校数 41校（小学校 1、中学校 38、高等学校 2、大学 0）

② 職場訪問の実施

参加人数 289人

参加学校数 55校（小学校4、中学校49、高等学校2）

(3) その他の研修受入れ

① 首都大学東京現場体験型インターンシップ

参加人数 3名

実施時期・内容

- ・本館 平成 29 年 8 月 23 日（水）～8 月 25 日（金）教育普及事業補助等
- ・たてもの園 平成 29 年 9 月 11 日（月）、12 日（火）情景再現事業補助等

② 都庁国際化リーダー育成プログラム

参加人数 毎回 200 人

実施時期

- ・平成 29 年 7 月 21 日（金）
 - 東京の歴史・文化に関する講義（計 4 講座）
 - 第 1 講 市川寛明「江戸東京博物館で学ぶ江戸の歴史」
 - 第 2 講 杓沢博行「江戸東京博物館で学ぶ東京の歴史」
 - 第 3 講 市川寛明「江戸文化の特質について」
 - 第 4 講 杓沢博行「江戸東京の歴史がわかる場所紹介」
- ・平成 29 年 10 月 30 日（月）～11 月 1 日（水）
 - 東京の歴史・文化に関するフィールドワーク

VIII 施設維持管理・貸出等

- 1 博物館管理運営東京都江戸東京博物館（本館及び分館）の指定管理者として、館の円滑な管理運営を図るため、各種会議・委員会を開催した。

(1) 東京都江戸東京博物館運営委員会

館の運営及び事業活動について、広い視野から助言を得、適正かつ円滑な館運営に資するため、東京都江戸東京博物館運営委員会を設置している。

○平成29年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会

- 日 時 平成29年7月11日（火）14時から16時まで
場 所 事務棟2階 会議室
内 容 1 副会長の指名
2 平成28年度事業実績について
3 江戸東京たてもの園復元建造物部会の実施報告について
4 その他

○平成29年度第2回東京都江戸東京博物館運営委員会

- 日 時 平成30年3月26日（月）13時30分から16時まで
場 所 江戸東京たてもの園
内 容 1 平成30年度事業計画について
2 平成29年度の入館状況について
3 江戸東京たてもの園復元建造物部会設置要項（案）について
4 その他

○ 東京都江戸東京博物館運営委員会委員（平成30年3月末現在）

- 会 長 市 村 佑 一（前江戸川大学学長）
副 会 長 久留島 浩（国立歴史民俗博物館館長）
委 員 池 山 世津子（元渋谷区教育長）
委 員 伊 東 孝（産業考古学会会長，元日本大学教授）
委 員 薄 井 和 男（神奈川県立歴史博物館館長）
委 員 熊 倉 功 夫（MIHO MUSEUM 館長）
委 員 越 澤 明（北海道大学名誉教授，一般社団法人住宅保証支援機構理事長）
委 員 月 岡 正 明（全国小学校社会科研究協議会推薦 世田谷区区立等々力小学校校長）
委 員 平 方 邦 行（東京都私立中高等学校協会推薦 工学院大学付属中学高等学校校長）
委 員 峰 岸 純 夫（首都大学東京名誉教授）
委 員 吉 見 俊 哉（東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授）

○平成29年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会

- 日 時 平成29年6月27日（火）9時30分から11時まで
場 所 江戸東京たてもの園 会議室

(1) 審議事項

- ・小出邸緊急修繕工事実施設計および工程について

(2) 報告事項

- ・丸二商店緊急修繕工事の完了について
- ・平成28年度劣化調査、耐震診断(天明家・伊達家の門)の結果について
- ・平成28年度補修工事の内容について

○平成29年度第2回東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造部会

日 時 平成30年2月23日（金）10時30分から12時30分まで

場 所 江戸東京たてもの園

(1) 審議事項

・天明家の耐震補強方法について

(2) 報告事項

・平成29年度劣化状況調査中間報告

・小出邸緊急修繕工事についての報告

・子宝湯鬼瓦等の補修についての報告

○ 東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会専門委員（平成30年3月末現在）

部 会 長 中谷 礼二（早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科教授）

専門委員 津村 泰範（長岡造形大学造形学部建築・環境デザイン学科准教授）

専門委員 山崎 鯛介（東京工業大学環境・社会理工学院建築学系准教授）

(2) 外部評価委員会

当該年度の事業実績につき、設定目標が効果的に実行されているか館内部において自己評価し、事務改善に結び付けるために内部評価を行うとともに、その内部評価による事業実績報告について、客観的な視点から、検証を行うため外部評価委員会を設置している。

○ 平成29年度東京都江戸東京博物館外部評価委員会

第1回

日 時 平成29年6月27日（火）午後3時から5時

場 所 事務棟2階 会議室

内 容 1 平成28年度外部評価総合評定について

2 平成29年度事業計画について

第2回

日 時 平成30年5月10日（木）午後2時から午後5時

場 所 事務棟2階 会議室

内 容 1 平成29年度外部評価総合評定について

2 平成30年度事業計画について

○ 東京都江戸東京博物館外部評価委員会委員

委 員 長 半 田 昌 之（日本博物館協会専務理事）

委 員 沓 澤 宣 賢（東海大学教授）

委 員 早 川 良 躬（江戸東京博物館友の会会長）

委 員 松 田 幸 雄（株緑山スタジオ・シティ常務取締役）

委 員 村 田 孝 子（ポーラ文化研究所）

○ 平成29年度江戸東京たてもの園外部評価委員会

第1回

日 時 平成29年7月20日（木）午後1時から2時30分

場 所 江戸東京たてもの園 会議室

内 容	1 平成28年度外部評価総合評定について 2 平成29年度事業計画について
第2回	
日 時	平成30年4月27日（金）午後3時から5時
場 所	江戸東京たてもの園 会議室
内 容	平成29年度外部評価 総合評定について

○江戸東京たてもの園外部評価委員会委員（平成30年3月末現在）

委員長	陣内 秀信（法政大学教授）
委員	小沢 朝江（東海大学教授）
委員	小野 一之（府中市郷土の森博物館館長）
委員	中島 清文（株式会社スタジオジブリ代表取締役）
委員	西田 剛（小金井市教育委員会生涯学習部長）

2 本館維持管理

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

また、「東京都江戸東京博物館条例」に基づき、江戸及び東京の歴史と文化の振興に資する講演会、講習会、研究会、鑑賞会等を実施する団体に対し貸出した日数は、次のとおりであった。

ホール91日、会議室119日、学習室（合計）212日、その他の施設（合計）175日、特別展示室84日

3 たてもの園維持管理

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

4 野外収蔵（庭園保安全管理）

江戸東京たてもの園内の庭園保全のため、植栽の維持・管理業務等を行った。

5 AVシステムの運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行うとともに、「映像ホール」「映像ライブラリー」において江戸東京に関連する映像ソフトを提供した。

「映像ホール」では、企画展や季節に合わせた館蔵映像資料のプログラム上映を行った。また、団体への事前ガイドや視察時の会場、小学校教員向けの見学相談会の会場等として使用した。

（1）映像ホール

入場者実績 14,914人（年間目標利用者数13,908人／達成率107.2%）

29年度企画上映プログラム

2月21日（火）～5月21日（日）

企画上映① 地形と深いかかわりのある江戸・東京の歴史と文化を紹介
「東京の下町と山の手」 1992年/東京都江戸東京博物館制作
「江戸から東京・坂の町」 1988年/東京都映画協会制作

企画上映② 企画展「戦時下東京の子供たち」(3/7～5/7開催) 関連特集
「映像で綴る東京の昭和 第6巻 戦時下の暮らし」
1992年/東京都江戸東京博物館制作
「絵日記が語る学童疎開」 1994年/東京都映画協会制作
企画上映③ 特別展「江戸と北京 18世紀の都市の暮らし」(2/18～4/9開催) 関連特集
「粋と洒落 江戸前料理」 1995年/東京都江戸東京博物館制作

5月23日（火）～8月27日（日）

企画上映① 特集：江戸の暮らし
「江戸の教育 寺子屋のおかげです」 1992年/東京都江戸東京博物館制作
「江戸のごみ処理」 1992年/東京都江戸東京博物館制作
企画上映② 特集：夏にいきづく江戸の風情
「ガラスの芸術 江戸切子」 1992年/東京都映画協会制作
「よみがえる江戸屋形船」 1989年/東京都映画協会制作
企画上映③ 伝統の技と美
「金唐草紙 金唐草紙をつくる」 1993年/東京都江戸東京博物館制作

7月11日（月）～8月27日（日）

特別企画として、公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団が制作した日本の伝統文化の記録映画を上映。

企画上映① 東京ゆかりの人間国宝
「芹沢銈介の美の世界」 1984年
「狂言師・三宅藤九郎」 1984年
「西出大三・截金の美」 1988年
企画上映② 伝統の祭りとこどもたち
「伊那人形芝居一明日につなぐ伝承のチカラ」 2010年
「琵琶湖・長浜一曳山まつり」 1985年
「鬼来迎 鬼と仏が生きる里」 2013年
企画上映③ 江戸東京の伝統文化を支える和紙
「細川紙の美を漉く 一和紙のこころ」 1985年
「粋と洒落 江戸前料理」 1995年

8月29日（火）～9月30日（日）

企画上映① 休館前スペシャル
「江戸東京博物館のできるまで」 1993年/東京都江戸東京博物館制作
企画上映② 特集：江戸東京たてもの園
「商家の出桁造り 小寺醤油店」 1993年/東京都江戸東京博物館制作
「東京型銭湯 子宝湯」 1993年/東京都江戸東京博物館制作
企画上映③ 特集：下町の暮らし
「平成に生きる下町職人」 1993年/東京都映画協会制作
「林家木久蔵のとおき下町風情 江戸東京たてもの園」 1998年

- ※企画上映①…10時30分～/13時30分～/16時30分～
 企画上映②…11時30分～/14時30分～/17時30分～（土曜日のみ）
 企画上映③…12時30分～/15時30分～

(2) 映像ライブラリー

設置ブース数	14台（最大28人同時利用可）
映像ソフト数	456タイトル（平成24年3月31日現在）
アクセス回数	5,517回

（年間目標利用回数5,416回／達成率101.9%）

「映像ライブラリー」では、特別展・企画展や年中行事等に合わせ、毎月5作品ずつ「おすすめ作品」を選定している。館内各種案内映像とちらしで紹介し、利用の活性化を図っている。

IX 広報事業

1 本館

種別	名称	実績
館内案内	江戸東京博物館案内リーフレット	デザイン・内容を改訂し、より分かりやすく親しみやすいリーフレットとした。 日本語版 150,000部 英語版 100,000部 フランス語版 10,000部 ドイツ語版 10,000部 スペイン語版 10,000部 合計 280,000部
定期刊行物	江戸東京博物館ニュース	日本語版・英語版年3回発行 日本語版 計 205,000部 英語版 計 40,000部
取材対応		新聞・テレビ番組などによる取材に対応した。 対応件数 461件
インターネットホームページ	日本語版、英語版、中国語版、ハングル版	デザイン・内容を改訂し、わかりやすく魅力的なHPとした。年間カレンダーや重要なお知らせの表示方法を改善。アクセス件数 6,047,368件
スマートフォンサイト	日本語版、英語版、中国語版、ハングル版	ホームページと連動したスマートフォンサイトでの情報発信
その他の広報	PR活動	企画展プレス内覧会の実施 2回

その他の広報	チラシの発行（夏休みイベント）	夏休みイベント チラシ 70,000部
	有料広告の出稿	訪日外国人向けフリーペーパー「Tokyo Wanderer」等10件の有料広告掲出
	ソーシャルメディアの活用	Twitterフォロワー数16,566人 開館10周年記念で制定された公式キャラクター「ギボちゃん」によるツイッターを即時性の高い広報ツールとして活用した。
	公式キャラクター「ギボちゃん」の活用	錦糸公園で10月に開催された「すみだ祭り」に公式キャラクター「ギボちゃん」が出演。

2 分館

種別	名称	実績
館内案内 ガイド	江戸東京たてもの園 案内リーフレット	英語版 1,200部
		中国語版(簡体字) 3,000部
		中国語版(繁体字) 3,000部
		韓国語版 1,500部
		合計 8,700部
定期刊行物	たてもの園だより	年2回 延50,000部
	事業案内チラシ	年4回 延372,000部
取材対応		新聞・テレビ番組などによる取材に対応した 対応件数 229件
その他広報	有料広告の出稿	Let's Enjoy Tokyoウェブページ、フリーペーパー、メルマガや朝日新聞多摩版等8件の有料広告掲出

【ホームページ・SNSの活用】

- (1) ホームページアクセス件数（平成30年3月末現在）5,526,815件
- (2) ツイッターフォロワー数（平成30年3月末現在）20,897人
- (3) ブログ、ツイッター、フェイスブックにて随時情報発信

3 読売新聞「江戸博 蔵めぐり」掲載実績

回	掲載日	執筆者	資料名	タイトル
1	4月7日	松井かおる	雪の中の少女	疎開先の姉妹 心細くても
2	4月21日	松井かおる	神風はちまき	勤労働員の学生ら鼓舞
3	4月28日	白井麻美	枕時計	和洋折衷 不定時法刻む
4	5月26日	津田紘子	美顔粉白粉純無鉛	美しさパッケージにも
5	6月2日	田原 昇	大阪町奉行松平大隅守ヨリ海舟伯宛 松平信敏書簡 文久三年七月八日勝海舟宛	幕末 立場越えた親交
6	6月16日	小林 愛恵	東海道中膝栗毛	滑稽本代表作 21年の長編
7	6月23日	江里口友子	コーヒーミル	豆挽きに製粉技術
8	7月7日	川口友子	江戸割烹番付	行司は別格の料理屋
9	7月21日	米山 勇	「森永キャンデーストアー銀座売店」模型	輝く木造モダニズム
10	7月28日	西村直子	東海道五拾三次之内 荒井 渡舟ノ図	大名の旅 いきいきと
11	8月25日	江里口友子	本所石原方面大旋風之真景	地震火災の恐ろしさ
12	9月8日	齋藤慎一	村梨子地葉菊紋散蒔絵耳盥 (村梨子地葵葉菊紋散桐唐草文様金蒔絵化粧道具 耳盥)	徳川家正室 お歯黒道具
13	9月15日	松井かおる	フロリダダンスホールコイン型チケット	1枚1曲ダンサーと踊る
14	9月22日	西村直子	鼠縮緬地秋景鶉模様振袖	武家女性着用 裾部に鶉
15	10月20日	小酒井大悟	撃剣会・赤松軍太夫と小川清武	剣術家救済の武芸興行
16	10月27日	丸山 はるか	深大寺の赤駒	素朴な玩具 新たな土産
17	11月3日	川口友子	雛形染色の山当流光林新模様	お洒落の参考 小袖図案集
18	11月17日	小林愛恵	西の市帰り	交錯する様々な物語
19	12月1日	阿部由紀洋	吉野家	名主の家 随所に風格
20	12月16日	栗屋朋子	宝塚少女歌劇花組公演市村座チラシ	関東大震災後の東京公演
21	1月19日	吉田奈緒子	風俗三十二相かわゆらしさう 明治十年以来内室の風俗	交わす視線 母と子の絆
22	1月26日	小宮山めぐみ	一平全集 全十五巻	漫画と文章 鋭い観察力
23	2月2日	齋藤慎一	徳川家康書状	豊臣秀保の全快祈る
24	2月16日	田中裕二	東京府御東幸行行烈図	「再幸」に詰めかけた人々
25	2月23日	杉山哲司	将軍様御上洛絵巻	家光の行列 権威誇示
26	3月2日	田中実穂	亀戸梅屋敷	江戸一の名木 観梅に集う
27	3月16日	畑 尚子	薩摩藩士仙波家文書	篤姫に従い 娘が大奥へ
28	3月23日	西村直子	高島おひさ	アイドル 水茶屋の娘
29	3月31日	熊谷紀子	市川鯉蔵の竹村定之進	見開いた目 名優の芸